

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年2月21日

計画の名称	42 隼人駅周辺整備における安全・安心なまちづくり (防災・安全)							重点配分対象の該当	○			
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)			交付対象	霧島市							
計画の目標	隼人駅周辺整備において、土地区画整理事業の手法で駅前広場や幹線道路および宅地の整備をすることにより、地区内にある既存建築物の耐震化率の向上や幹線道路及び駅前広場の歩行空間のユニバーサルデザイン化による安全対策等を一体的、総合的に実施し安全・安心で良好なまちづくりを実現する。また、他事業で計画している自由通路も併せて整備することにより、全ての人が自由に使いやすく安全で安心して利用できる歩行者ネットワークの改善を進めるとともに、隼人駅を中心とした鉄道との交通結節機能を強化し新たな生活拠点の整備を図る。											
計画の成果目標 (定量的指標)	地区内におけるS55以前の既存建築物戸数を除却・建築し、建物の耐震化率の向上を図る。 隼人駅・駅前広場を利用する車椅子や子供を含む移動における安全確保と利便性向上を実現する成果目標として、車椅子利用者や子供が移動する際に障害となる箇所のバリアフリー対策実施率向上を確保する。											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考			
						当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)				
建物の耐震化率 (%) = (市内にあるS55以前に建築され耐震性がある住宅+市内にあるS55以降に建築された住宅) / 市内にある居住世帯のある住宅棟数 × 100 (%)						74%	76%	79%				
(車椅子利用者が移動する際に障害となる箇所のバリアフリー対策実施率向上) = (施行地区内の都市計画道路において段差を解消した箇所) ÷ (バリアフリー新法施行後に整備をしている市内の都市計画道路において車椅子利用者の移動の障害となる段差のある箇所) (%)						65%	70%	75%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,776百万円	A	1,776百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業																			
A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
A1-1	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	区画	改築	隼人駅東地区 ((都) 日当山線 外)	区画整理 A=13.1ha、駅前広場 A=3,500㎡	霧島市						1,776	1.24	-	
											小計 (道路事業)								
											小計 (都市防災・公園事業)								
C 効果促進事業 (該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H28	H29	H30	H31	H32					
											小計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考					

D 社会資本整備円滑化地帯整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年2月21日

計画の名称	42 隼人駅周辺整備における安全・安心なまちづくり (防災・安全)			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	霧島市		
計画の目標	隼人駅周辺整備において、土地区画整理事業の手法で駅前広場や幹線道路および宅地の整備をすることにより、地区内にある既存建築物の耐震化率の向上や幹線道路及び駅前広場の歩行空間のユニバーサルデザイン化による安全対策等を一体的、総合的に実施し安全・安心で良好なまちづくりを実現する。また、他事業で計画している自由通路も併せて整備することにより、全ての人が自由に使いやすく安全で安心して利用できる歩行者ネットワークの改善を進めるとともに、隼人駅を中心とした鉄道との交通結節機能を強化し新たな生活拠点の整備を図る。				

交付金の執行状況

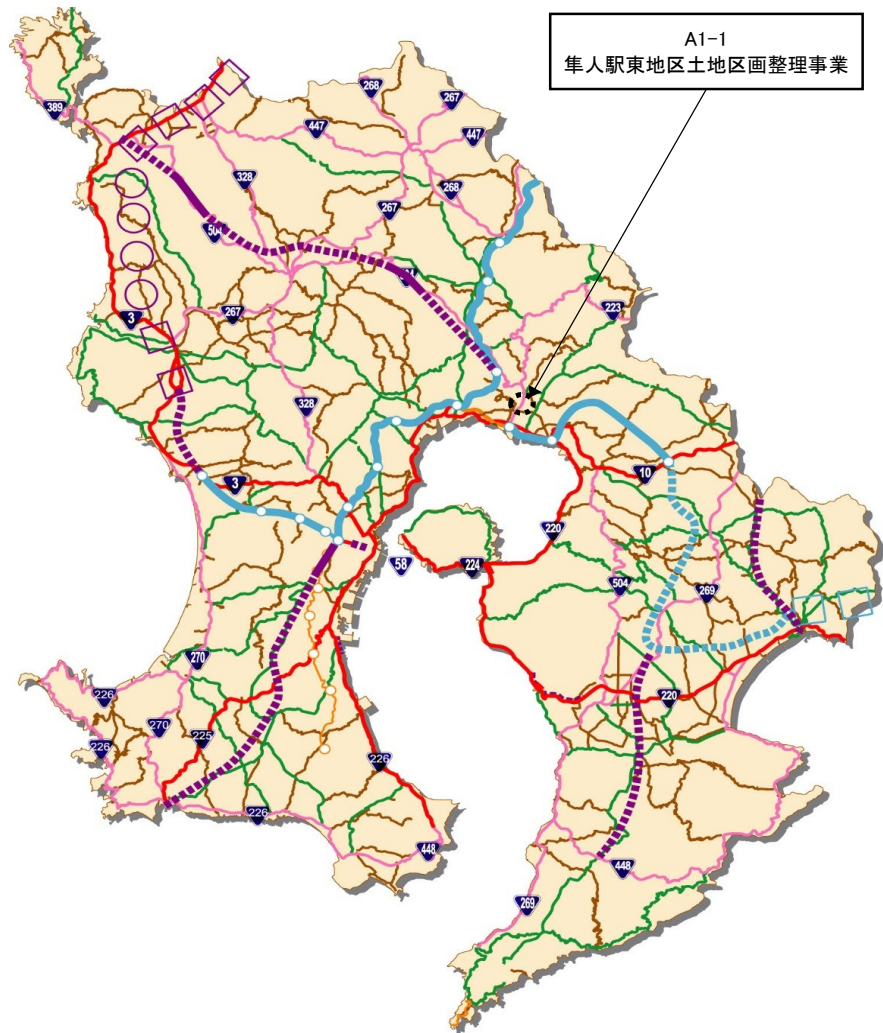
(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	238	18	35	154	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	238	18	35	154	
前年度からの繰越額 (d)	0	82	18	0	
支払済額 (e)	156	82	53	25	
翌年度繰越額 (f)	82	18	0	129	
うち未契約繰越額 (g)	23	18	0	129	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	9.7%	100.0%	0.0%	83.8%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由		街区の見直しの必要から、事業計画変更を行うこととなり、認可取得に不測の日数を要したため。		関係機関との協議に不測の日数を要したため。	


※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。


(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)


計画の名称	42 隼人駅周辺整備における安全・安心なまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	霧島市

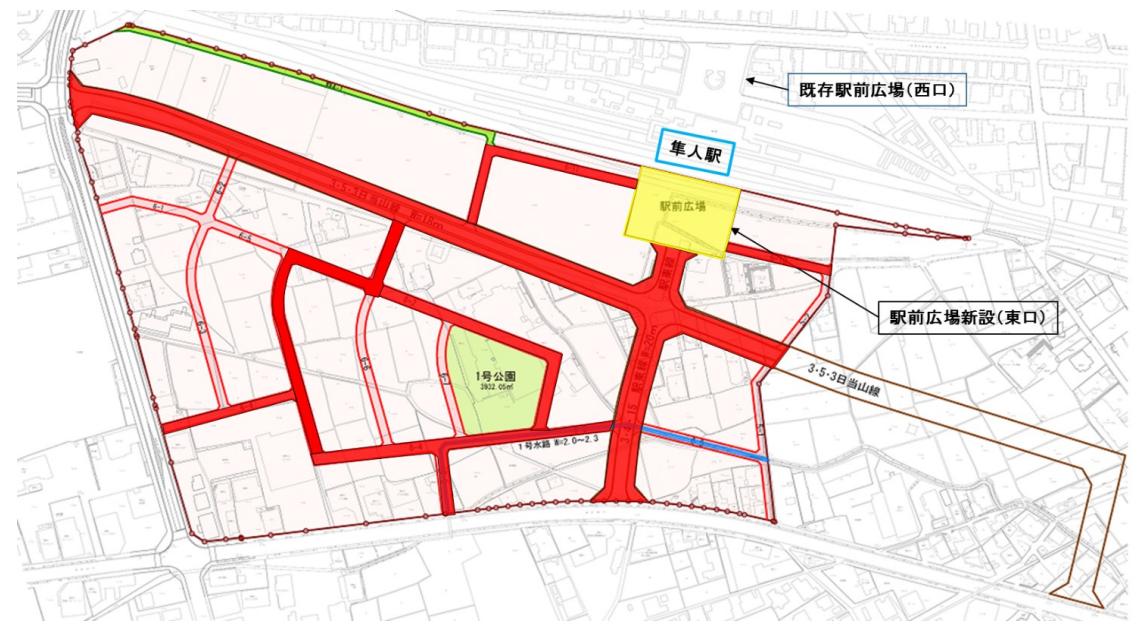


【凡例】

駅前広場範囲 : 

交付対象路線 : 

バリアフリールート : 



社会資本整備総合交付金チェックシート

(防災・安全交付金)

計画の名称:隼人駅周辺整備における安全・安心なまちづくり(防災・安全)

事業主体名:霧島市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑦十分な事業効果が見込める。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑨地域の協力が見込める。	○